

<府中第六小学校は、今年度創立70周年を迎えました>



府六だより

府中市立府中第六小学校

3月号

令和8年2月27日

(児童数 685名)

校長 小林 邦子

「にじがかかる僕らのこせい」～70周年展覧会を終えて～

副校長 神薊 博之

2月17日(木)から3日間の日程で行われた70周年展覧会。今回は、5・6年生の代表児童による実行委員会が中心となって9月から長い時間をかけ、開催に向けて様々な準備に取り組んできました。広がったアリーナや新しくできた多目的ルームは、六小の子供たち全員が主役となり、輝く個性と希望に満ちた展覧会の会場となりました。ご多用の中、多数の保護者や地域の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。一部となりますが、皆様から寄せられた展覧会の感想を紹介させていただきます。



- ・明るくて広いアリーナに一步踏み入れた瞬間、異世界空間に来たようでワクワクした。
- ・どの学年もテーマによる全体的な統一感をしっかり感じるのに、それぞれの児童の個性があって、見ていてとてもおもしろかった。
- ・子供の発想は本当に伸びやかで、タオル、土、廃材など、どんなものでも工夫次第で色々な作品に生まれ変わる楽しさを味わうことができた。



- ・どの作品もみんな一生懸命作っていて、高学年は家庭科の技術も高く感じてすごいと思った。
- ・細部にまでこだわりがあるすてきな作品が多く、細かい作業が皆とても上手にできていて感心した。
- ・廊下や多目的ルームでの展示は、ダイナミックで迫力があつた。
- ・手芸作品の展示もされているのは子供も嬉しいだろうなと感じた。



- ・子どもたちの作品一つ一つ個性が出てみんなの思いや願いが感じられた。
- ・子どもたちのそれぞれの世界観や思いを感じる展覧会だった。
- ・展覧会に向け1人1人が真剣に向き合った姿勢を想像することができた。たくさんの感動をもらった。
- ・子供も楽しそうに案内してくれたので一緒に楽しむことができた。

<左の写真>開会式を終えた展覧会実行委員のメンバーです。

さて、展覧会が終わるといよいよ来月からは学期末の3月です。学年のしめくりでもあります。進級に向けて、この1年の学びを丁寧に振り返り、学習面では力が付いてきたところ、まだ苦手なところを自分自身で見つけてほしいと思います。また、生活面では、1年間共に過ごした友達、教室、学校の教職員、そして自分たちを支えてくれた家族や地域の方々への「感謝の心」を大切に過ごしてほしいと思います。